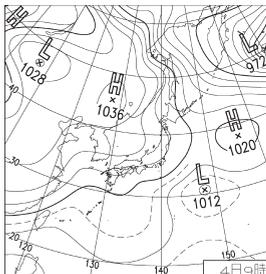


日々の天気図

— No. 80

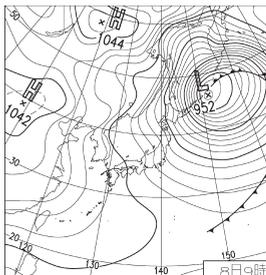
2007年1月

- 6日～8日、猛烈に発達した低気圧により、八丈島西見48.5 m/s、北海道浦川町潮見町48.0 m/sの瞬間風速、岩手県宮古117 mm/24 hの降水、北海道網走支庁北見市留辺瀨町及び滝上町81 cm/24 hの降雪。
- 13日、千島列島東方の地震により、父島や三宅島で40 cmの津波を観測。(気象庁予報部予報課)



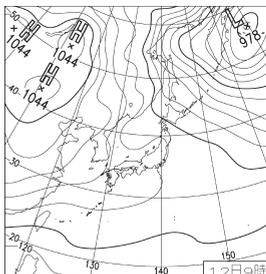
4日(木)季節はずれの紅葉

日本海側の所々で弱い雪や雨。九州南部や南西諸島で雨。その他は曇りや晴れ。水戸市で平年より約1ヶ月早くツバキ開花。佐賀市で平年より45日遅くイロハカエデ紅葉。



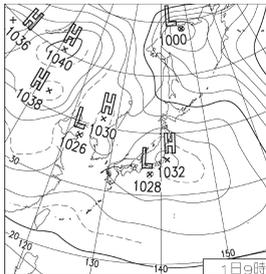
8日(月)冬型気圧配置

千島列島の低気圧は950 hPa(15時)と、猛烈に発達。日本付近は冬型の気圧配置。日降雪量は山形県大蔵村射折で49 cm。太平洋側は相対的に乾燥し、最小湿度は東京都大手町で18%。



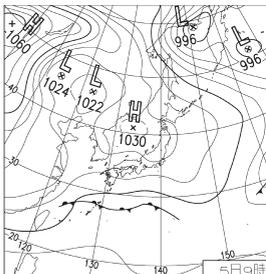
12日(金)北日本 弱い冬型

西から高気圧に覆われる。北日本の日本海側から山陰にかけては曇りや雪。北海道東部～西日本太平洋側は概ね晴れ。北東からの冷たい空気の影響で東海や関東で正午頃まで曇り。



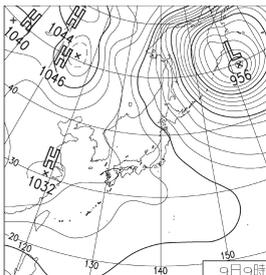
1日(月)天気 下り坂

九州・沖縄と北日本の日本海側で曇りや雨の他は概ね晴れて初日の出が見られた。東日本は放射冷却で冷え込み真冬の寒い朝。東京都千代田区大手町で平年より遅く初霜と初氷。



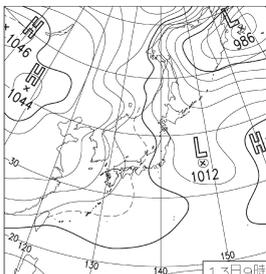
5日(金)日本海に高気圧

北日本～東日本はこの高気圧に覆われて晴れたが、西日本は次第に曇りとなり一部で雨。関東を除いて気温が平年より高く、最高気温は多くの所で3月上旬～中旬並。



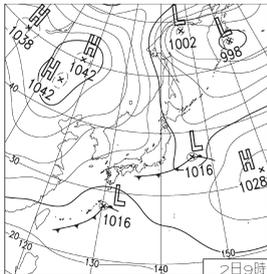
9日(火)北日本 冬型続く

朝9時、稚内市上空約5100 mで-41.3°Cの寒気。北日本日本海側は雪、青森・山形・福島県等の各所で30 cm以上日降雪量。高松市で平年より14日早くウメ開花。



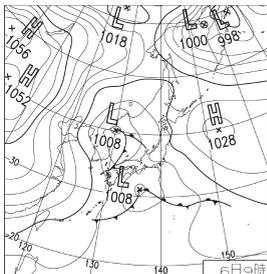
13日(土)冬型の気圧配置続く

北陸から北の日本海側では雪、西日本の日本海側は曇りや雨。西日本～北日本の太平洋側は概ね晴れ。降雪量は、福島県西会津町で41 cm/24 h、山形県尾花沢市34 cm/24 h。



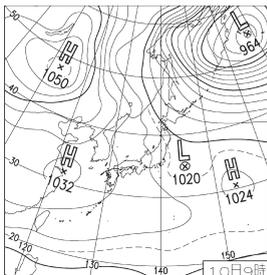
2日(火)日本付近 気圧の谷

本州の東海上の低気圧から寒冷前線が本州の南岸にのびる。沖縄付近の低気圧は東進。北日本の一部で晴れの他は曇りや雨。北日本の一部を除き3月上旬～4月中旬の最低気温。



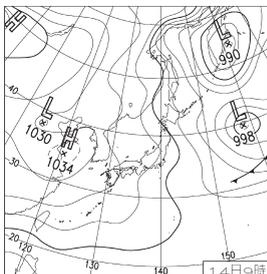
6日(土)日本海と南岸に低気圧

南海上の低気圧、太平洋側沿岸を急速に発達しながら北上。各地雨や雪。長野県上田市菅平で日降雪量37 cm。岩手県宮古市で54 mm/1 h。高知県室戸岬で最大瞬間風速40.5 m/s。



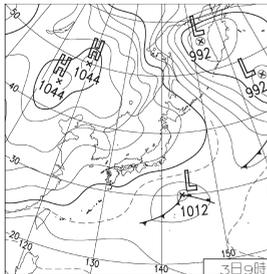
10日(水)北海道厳しい冷え込み

北日本中心に寒気が残り、北～東日本の日本海側と山陰で雪や雨の他は晴れ。最低気温は長野県上田市菅平で-19.0°C。北海道は日中も気温低く、宗谷支庁礼文町で最高気温-8.4°C。



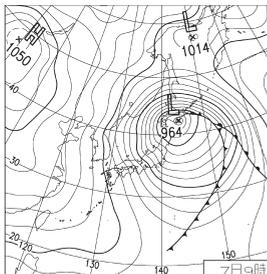
14日(日)北日本 冬型持続

北日本は日本海側で雪、太平洋側は晴れ。東・西日本は一部日本海側で雪や雨の他は概ね晴れ。南西諸島は曇り。長野県は放射冷却も加わり南牧村野辺山で-18.6°C。



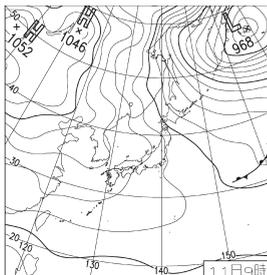
3日(水)高気圧 北から覆う

北日本や東海、近畿で晴れた他は概ね曇り、日本海側や南岸、南西諸島では一部で雨。ほぼ全国的に気温が高く、最低気温は3月下旬～4月中旬、最高気温は3月上旬～中旬並。



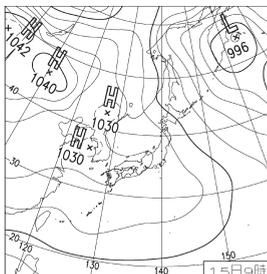
7日(日)全国的に大荒れ

北海道釧路沖に急速に発達中の低気圧。全国的に風が非常に強く、関東は晴れたが北海道から西日本まで雨や雪。東京都八丈町西見で最大瞬間風速48.5 m/s。



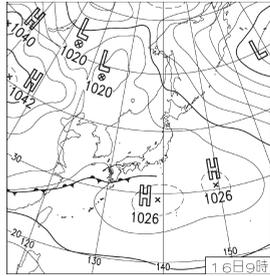
11日(木)北日本中心の冬型

日本海側で雪や雨の他は西から高気圧に覆われて概ね晴れ。北海道岩見沢市5条で日降雪量46 cm。北海道は真冬日。京都市と長崎市では平年より一月以上早いタンポポの開花。



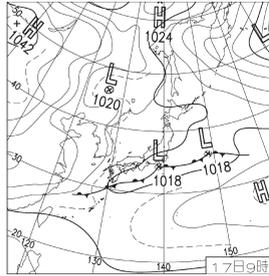
15日(月)西～東日本晴れて暖か

西から高気圧に覆われる。北日本は冬型の気圧配置が残り、日本海側を中心に降雪続く。日中は東日本より西の地方で気温が高く、富山県では平年を5度上回る3月下旬の陽気。



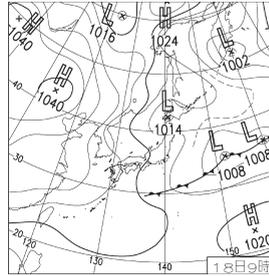
16日(火)天気 西から下り坂

東シナ海から前線がのび西日本は曇りや雨。北日本の日本海側と北陸の一部で雪。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。4月上旬並の暖かな沖縄県宮古島市でヒカンザクラ開花。



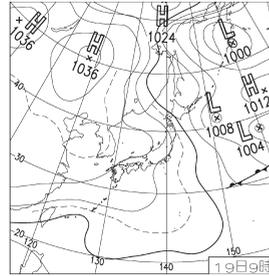
17日(水)南海上に前線停滞

前線に近い西～東日本は、雨が九州から次第に近畿、関東に移る。北海道東部は概ね晴れ。関東と静岡県沿岸で日中の気温が上がらず、東京の最高気温は真冬並の8.2℃止まり。



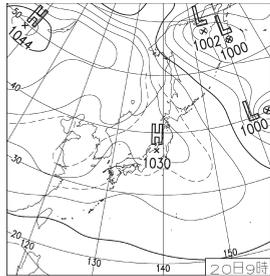
18日(木)網走市 流水初日

冬型気圧配置。山陰から北の日本海側は雨か雪、南西諸島は所々雨。その他は概ね晴れ。網走市で平年より2日早い流水初日。東京都千代田区大手町と鹿児島県種子島でウメ開花。



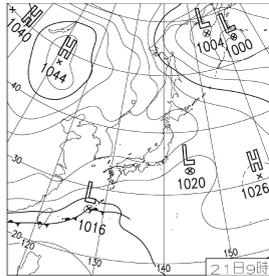
19日(金)北日本冬型強まる

日本海側は、北日本では雪、北陸以西では雨や曇り。太平洋側は日中概ね晴れ。南西諸島は気圧の谷に入り雨。最低気温は、九州ではほぼ平年並みの外は、3月上～下旬の暖かさ。



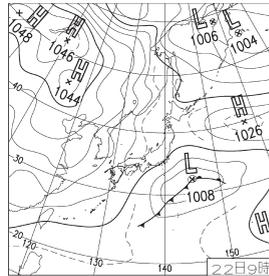
20日(土)大寒 冷え込みは一部

高気圧に覆われた本州付近は日中晴れたが、関東は気圧の谷の影響で曇や雨、一部で雪が混じり、最高気温は平年より2～4℃低い。千葉市、横浜市で平年より12～16日遅い初雪。



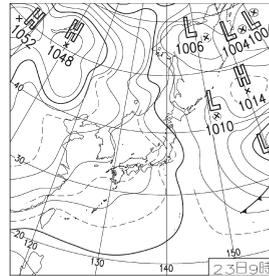
21日(日)沖縄 大雨

低気圧や前線の影響で東日本～南西諸島で曇りや雨の他は高気圧に覆われて概ね晴れ。沖縄県渡嘉敷村で60.5 mm/1hの非常に激しい雨、1月の極値更新。各地とも暖かい朝続く。



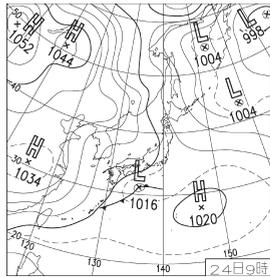
22日(月)宮崎市でヒバリ初鳴き

本州の南東海上を低気圧が東北東進。北日本を上空に寒気を伴う気圧の谷が通過。日本海側は曇りから雨や雪。北海道～九州の太平洋側は概ね晴れ。関東南部や甲信は朝まで雨や雪。



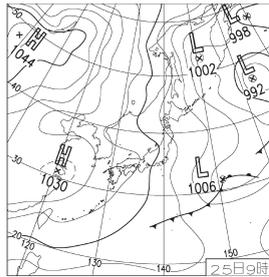
23日(火)全国的に高い気温

北日本中心の冬型。北陸から北の日本海側は曇りや雪や雨。東日本以西は高気圧に覆われて関東～東海を中心に晴れ。多くの所で3月上、中旬の気温。那覇市でヒカンザクラ開花。



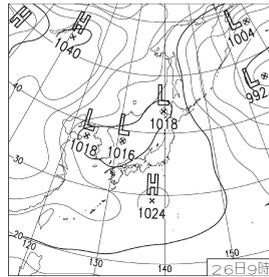
24日(水)寒中 暖かな朝

北日本は冬型で日本海側は雪、太平洋側は曇りや曇り。北陸～山陰は所々雨。南西諸島も概ね雨。その他は晴れや曇り。山陰を除き、いて最低気温は概ね3月上旬～下旬並。



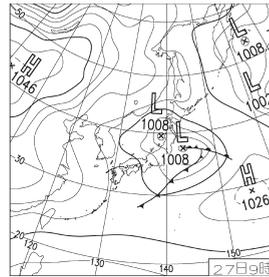
25日(木)北日本中心の冬型持続

西日本は高気圧に覆われる。新潟から北の日本海側は雪の所が多く、その他は晴れ。札幌市も21 cm/24hのまとまった降雪があり、今年初めて積雪が50 cmを超える。



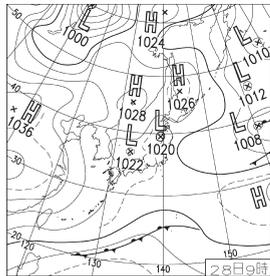
26日(金)西から天気 下り坂

上空に寒気を持った低気圧が日本海を東進。大気の状態が不安定、西日本～東日本では局地的に雷雨やひょう。水戸市と長崎県五島市本場町で平年より5日～7日早いウメの開花。



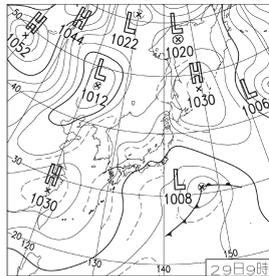
27日(土)低気圧通過

最低気温は北海道と南西諸島の一部を除いて全国的に平年より高めで、四国の一部と東北・北陸で4月上旬並。奈良市でウメ開花、平年より11日早い。



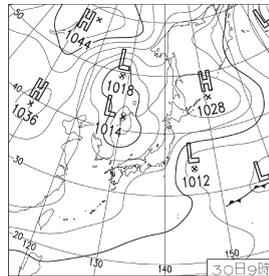
28日(日)本州 気圧の谷

日本海側を中心に雨か雪。その他は概ね曇り。札幌市上空約5300 m付近には-36.5℃の寒気。地上の最低気温は空知支庁朱鞠内で平年より9.7℃低い-26.9℃。



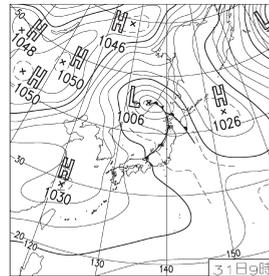
29日(月)島根県でひょうを観測

北海道の石狩・胆振支庁で大雪、新千歳空港で欠航相次ぐ。札幌市の日降雪量30 cm。島根県浜田市大辻町で直径5ミリのひょう。奄美市名瀬でヒカンザクラ開花。



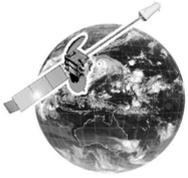
30日(火)本州 穏やかに晴れ

西～東日本、東北は高気圧に覆われる。北海道は南西部を中心に雪が残る。最高気温は南西諸島を除き平年より3～8度高い3月上～下旬の暖かさ。夜には九州、中国地方で雨。



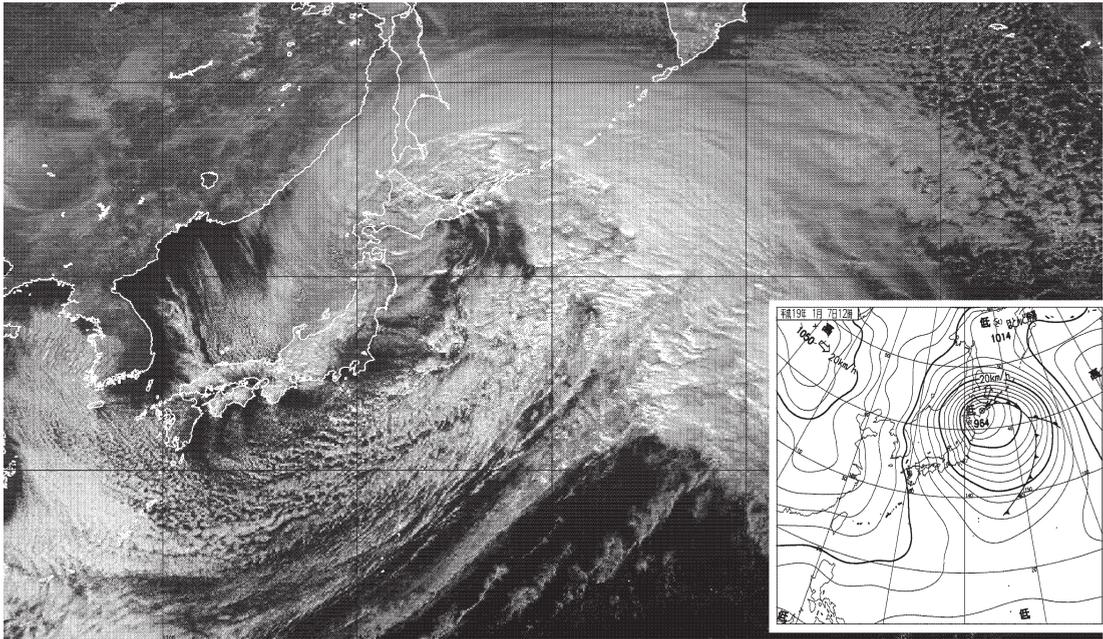
31日(水)北・東日本4月の陽気

前線の通過で北日本～北陸は雨や雪。南から暖気が入った北・東日本で気温が上昇。北海道帯広市の朝の最低気温は平年より12.3℃も高い-3.0℃、4月上旬の暖かさ。



今月のひまわり画像—2007年1月

急速に発達する低気圧



可視画像（2007年1月7日12時）

急速に発達する低気圧とは、おおよそ低気圧の中心気圧が24時間以内に20 hPa 以上低下するようなものをいう。1月6日9時の地上天気図では、本州の南海上に1010 hPa の低気圧があり、この低気圧は関東、東北地方の太平洋沿岸を通り7日12時には十勝沖に進み、中心気圧が964 hPa と急速に発達した。

写真は1月7日12時の可視画像である。十勝沖にある下層雲渦は低気圧の中心に対応し、この渦に入り込む雲列や北側にある厚い雲域は円形度も良く、画像か

らもこの低気圧は急速に発達していることがわかる。

当日9時の日本海上空5400 m 付近では -36°C 以下の寒気があり、寒気移流を示唆する筋状雲が日本海西部で明瞭である。

この急速に発達した低気圧は各地で暴風や大雪をもたらした。北海道の浦河では歴代2位の最大瞬間風速 48.0 m/s を記録した。

（気象衛星センター）